

保健学研究科 博士前期課程 看護学分野
看護学研究コース カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
保健学研究科博士前期課程看護学研究コース	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	全人的かつ先進的な保健・医療のために、世界と繋がり、異なる価値を認め、看護学の課題解決に導く実践力 看護学の課題と向き合う中で、それぞれの差異を理解し、解決のために先駆けて行動できる。 地域社会や国際社会におけるヘルスプロモーションに貢献できる。 全人的かつ先進的な保健・医療を実践できる。	研究の基礎能力を持ち、論理的・複眼的に看護学の課題に迫る探究力 看護学の専門的学識を用いて、多面的な検討により課題を発見し、自ら解決方法を見いだせる。 課題の本質を、他の専門領域の人が理解できるように説明することができる。	保健・医療チームの中核として広く協働できるコミュニケーション力 看護学の専門職として、チーム医療における役割を理解できる。 円滑なコミュニケーションにより、専門領域を超えて相互に高め合うことができる。	看護学の高度な知識と技術を統合し、保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門力 看護学の研究方法についての知識と技術を習得している。 知識、技能を深く統合することができる。	幅広い学びから自らの知を深め、社会・環境の変化に柔軟に対応できる教養力 情報の収集・分析などを行うことができ、適切に活用できる。 自分や社会の未来創造のために、方向性を見だし、計画できる。 より広く深く学ぶことを通して自らの成長に繋げることができる。

区 分	科目名	年次	単位数		修得できる力				
			必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
共通・コア科目	学位プログラム概論	1・2	1						◎
	リーダーシップとSDGs	1・2	2		○		○		◎
	ヘルスプロモーション科学	1・2	(1)				◎		
	医療倫理学	1・2	(2)						◎
	危機管理学	1・2	(2)						◎
	研究方法論	1・2	(2)			◎			
看護学共通科目	看護教育論	1		2		○	○	◎	
	看護管理論	1		2	◎		○	○	
	看護理論	1		2	◎	○		○	
	看護倫理	1		2	○		○	◎	
	看護研究	1		2	◎	○		○	
	看護コンサルテーション論	1		2	◎		○	○	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	◎		○	○	
	病態生理学	1		2	◎		○	○	
	臨床薬理学特論	1		2	◎		○	○	
	グローバル・プレゼンテーション1	1・2		1	◎		○	○	
	グローバル・プレゼンテーション2	1・2		1	◎		○	○	
	国際研究インターンシップ（前期）	1・2		1	◎	○		○	
	インターンシップ実践（前期）	1・2		1	◎	○		○	
基礎看護学	基礎看護学特論	1		2	◎	○		○	
	基礎看護学演習	1		2	◎	○		○	
	感染管理学特論	1		2	◎	○		○	
	感染管理学演習	1		2	◎	○		○	
	基礎看護学特別研究	2	(10)		◎	○		○	

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
看護学専門科目	成育看護学	小児看護学特論Ⅰ	1		2	◎	○		○	
		小児看護学特論Ⅱ	1		2	◎	○		○	
		小児看護学演習Ⅰ	1		2	◎	○		○	
		小児看護学演習Ⅱ	1		2	◎	○		○	
		女性の健康援助特論	1		2	◎	○		○	
		女性の健康援助演習	1		2	◎	○		○	
		成育看護学特別研究	2	(10)		◎	○		○	
	臨床応用看護学	成人看護学特論	1		2	◎	○		○	
		成人看護学演習	1		2	◎	○		○	
		緩和ケア特論	1		2	◎	○		○	
		緩和ケア演習	1		2	◎	○		○	
		臨床応用看護学特別研究	2	(10)		◎	○		○	
	コミュニティヘルス看護学	地域公衆衛生看護学特論	1		2	◎	○		○	
		地域公衆衛生看護学演習	1		2	◎	○		○	
		看護政策システム学特論	1		2	◎	○		○	
		看護政策システム学演習	1		2	◎	○		○	
		老年看護学特論	1		2	◎	○		○	
		老年看護学演習	1		2	◎	○		○	
		地域ケア開発学特論	1		2	◎	○		○	
		地域ケア開発学演習	1		2	◎	○		○	
		精神保健看護学特論	1		2	◎	○		○	
		精神保健看護学演習	1		2	◎	○		○	
		コミュニティヘルス看護学特別研究	2	(10)		◎	○		○	

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する
 共通・コア科目及び専門教育科目に係る単位の()書きは選択必修科目とする。

保健学研究科 博士前期課程 看護学分野 助産学コース
カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
保健学研究科博士前期課程助産学コース	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	全人的かつ先進的な保健・医療のために、世界と繋がり、異なる価値を認め、助産学の課題解決に導く実践力 助産師の価値観、行動様式、役割意識を体得し、後進に伝える方法を考察できる。	研究の基礎能力を持ち、論理的・複眼的に助産学の課題に迫る探究力 研究倫理の遵守し、適切な方法を用いて学術的・実践的貢献ができる。	保健・医療チームの中核として広く協働できるコミュニケーション力 助産師および他職種の職責、組織での役割を理解し、目的達成のための協働について考察できる。	助産学の高度な知識と技術を統合し、保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門力 対象者中心のケアに必要な基本的な助産診断能力と特有の技術を習得できる。	幅広い学びから自らの知を深め、社会・環境の変化に柔軟に対応できる教養力 生命倫理、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、性の多様性、文化的・宗教的・社会的背景と女性の性について理解し、助産師として対象者の福利や受益について考察できる。

区 分	科目名	年次	単位数		修得できる力				
			必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
共通・コア科目	学位プログラム概論	1・2	1						◎
	リーダーシップとSDGs	1・2	2		○		○		◎
	ヘルスプロモーション科学	1・2	(1)				◎		
	医療倫理学	1・2	(2)						◎
	危機管理学	1・2	(2)						◎
	研究方法論	1・2	(2)			◎			
	看護学共通科目	看護教育論	1	2				◎	
		看護管理論	1	2					◎
		看護理論	1	2					◎
		看護倫理	1	2					◎
		看護研究	1	2		◎			
		看護コンサルテーション論	1	2			◎		
		看護ヘルスアセスメント	1	2					◎
		病態生理学	1	2					◎
		臨床薬理学特論	1	2					◎
		グローバル・プレゼンテーション1	1・2	1		◎			
		グローバル・プレゼンテーション2	1・2	1		◎			
		国際研究インターンシップ（前期）	1・2	1		◎			
		成育看護学特論	1	2				◎	
		成育看護学演習	1	2				◎	
		女性の健康援助特論	1	2		◎		○	
		女性の健康援助演習	1	2		◎		○	
		リプロダクティブ・ヘルス特論Ⅰ	1	2	◎				
		リプロダクティブ・ヘルス特論Ⅱ	1	2	◎				
		リプロダクティブ・ヘルス演習Ⅰ	1	2	◎		○		
		リプロダクティブ・ヘルス演習Ⅱ	1	2	◎		○		

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
看護学専門科目	専門研究領域科目	リプロダクティブ・ヘルス演習Ⅲ	1		2	◎		○		
		リプロダクティブ・ヘルスケア特論	1	1					◎	
		リプロダクティブ・ヘルスケア演習	1	1				○	◎	
		助産学特論	1	1		◎			○	
		生殖病態学特論	1	2					◎	
		乳幼児発達学特論	1	1					◎	
		助産診断・技術学特論Ⅰ	1	1				○	◎	
		助産診断・技術学特論Ⅱ	1	1				○	◎	
		助産診断・技術学特論Ⅲ	1	1				○	◎	
		助産技術学演習Ⅰ	1	1				○	◎	
		助産技術学演習Ⅱ	1	1				○	◎	
		助産技術学演習Ⅲ	1	1				○	◎	
		周産期ハイリスク特論	2	2					◎	
		地域母子保健特論	1	1			○		◎	
		地域母子保健演習	1	1			○		◎	
		助産管理学特論	2	1			○		◎	
		助産管理学演習	2	1			○		◎	
		助産学実習Ⅰ	1・2	10				○	◎	
		助産学実習Ⅱ	2	2				○	◎	
		成育看護学特別研究	2	10			◎			
	専門研究領域以外の科目	感染管理学特論	1		2					◎
		地域公衆衛生看護学特論	1		2					◎
		看護政策システム学特論	1		2					◎
		精神保健看護学特論	1		2					◎

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する
共通・コア科目に係る単位の()書きは選択必修科目とする。

保健学研究科 博士前期課程 放射線技術科学分野
放射線技術科学・高度実践研究コース カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
保健学研究科博士前期課程放射線技術科学・高度実践研究コース	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	全人的かつ先進的な保健・医療のために、世界と繋がり、異なる価値を認め、放射線技術科学の課題解決に導く実践力	研究の基礎能力を持ち、論理的・複眼的に放射線技術科学の課題に迫る探究力	保健・医療チームの中核として広く協働できるコミュニケーション力	放射線技術科学の高度な知識と技術を統合し、保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門力	幅広い学びから自らの知を深め、社会・環境の変化に柔軟に対応できる教養力
	放射線技術科学の課題と向き合う中で、それぞれの差異を理解し、解決のために先駆けて行動できる。 地域社会や国際社会におけるヘルスプロモーションに貢献できる。 全人的かつ先進的な保健・医療を実践できる。	放射線技術科学の専門的学識を用いて、多面的な検討により課題を発見し、自ら解決方法を見いだせる。 課題の本質を、他の専門領域の人が理解できるように説明することができる。	放射線技術科学の専門職として、チーム医療における役割を理解できる。 円滑なコミュニケーションにより、専門領域を超えて相互に高め合うことができる。	放射線技術科学の研究方法についての知識と技術を習得している。 知識、技能を深く統合することができる。	情報の収集・分析などを行うことができ、適切に活用できる。 自分や社会の未来創造のために、方向性を見だし、計画できる。 より広く深く学ぶことを通して自らの成長に繋げることができる。

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
共通・コア科目		学位プログラム概論	1・2	1			◎		◎	◎
		リーダーシップとSDGs	1・2	2		○		○		◎
		ヘルスプロモーション科学	1・2	(1)		◎		◎		◎
		医療倫理学	1・2	(2)			◎		◎	◎
		危機管理学	1・2	(2)		◎	◎		◎	
		研究方法論	1・2	(2)		◎	◎			◎
放射線技術科学専門科	放射線技術科学 共通科目	グローバル・プレゼンテーション1	1・2		1	◎	◎	◎		
		グローバル・プレゼンテーション2	1・2		1	◎	◎	◎		
		国際研究インターンシップ（前期）	1・2		1	◎		◎	◎	
		インターンシップ実践（前期）	1・2		1	◎		◎	◎	
	医用情報理工学	医用物理学特論	1		2		◎		◎	◎
		医用物理学演習	1		2	◎	◎		◎	
		生体情報計測学特論	1		2		◎		◎	◎
		生体情報計測学演習	1		2	◎			◎	◎
		医用画像解析学特論	1		2	◎			◎	◎
		医用画像解析学演習	1		2	◎	◎		◎	
		医用情報理工学特別研究	2	(10)		◎	◎	◎	◎	◎
	放射線技術科学専門科	研究方法論応用	1・2		1		◎		◎	◎
		悪性腫瘍の管理と治療	1・2		1	◎			◎	◎
		医療倫理と法律的・社会的問題	1・2		0.5	◎	◎		◎	
		がんチーム医療実習	1・2		0.5	◎		◎		◎
		医療情報学	1・2		0.5		◎		◎	◎
		医療対話学（コミュニケーションスキル）	1・2		0.5	◎	◎	◎		
		がんのベーシックサイエンス・臨床薬理学	1・2		1		◎		◎	◎
		がんの病理診断・放射線診断学	1・2		0.5	◎	◎		◎	

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
科目	放射線健康支援科学	臓器別がん治療各論	1・2		2		◎		◎	◎
		がん緩和治療	1・2		0.5			◎	◎	◎
		放射線治療品質管理学特論	1・2		2	◎			◎	◎
		放射線治療品質管理学演習	1・2		2	◎	◎		◎	
		中性子医療学特論	1・2		2		◎		◎	◎
		中性子医療学演習	1・2		2	◎	◎	◎	◎	
		放射線生命科学特論	1		2	◎	◎		◎	
		放射線生命科学演習	1		2	◎	◎		◎	
		放射線治療技術学特論	1		2		◎		◎	◎
		放射線治療技術学演習	1		2	◎	◎	◎		
		核医学検査技術学特論	1		2		◎		◎	◎
		核医学検査技術学演習	1		2	◎			◎	◎
		放射線健康科学特論	1		2		◎		◎	◎
		放射線健康科学演習	1		2	◎	◎		◎	
		放射線健康支援科学特別研究	2	(10)		◎	◎	◎	◎	◎

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する
共通・コア科目及び専門教育科目に係る単位の()書きは選択必修科目とする。

保健学研究科 博士前期課程 検査技術科学分野
臨床検査科学・高度実践研究コース カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
保健学研究科博士前期課程臨床検査科学・高度実践研究コース	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	全人的かつ先進的な保健・医療のために、世界と繋がり、異なる価値を認め、臨床検査科学の課題解決に導く実践力	研究の基礎能力を持ち、論理的・複眼的に臨床検査科学の課題に迫る探究力	保健・医療チームの中核として広く協働できるコミュニケーション力	臨床検査科学の高度な知識と技術を統合し、保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門力	幅広い学びから自らの知を深め、社会・環境の変化に柔軟に対応できる教養力
	臨床検査科学の課題と向き合う中で、それぞれの差異を理解し、解決のために先駆けて行動できる。 地域社会や国際社会におけるヘルスプロモーションに貢献できる。 全人的かつ先進的な保健・医療を実践できる。	臨床検査科学の専門的知識を用いて、多面的な検討により課題を発見し、自ら解決方法を見いだせる。 課題の本質を、他の専門領域の人が理解できるように説明することができる。	臨床検査科学の専門職として、チーム医療における役割を理解できる。 円滑なコミュニケーションにより、専門領域を超えて相互に高め合うことができる。	臨床検査科学の研究方法についての知識と技術を習得している。 知識、技能を深く統合することができる。	情報の収集・分析などを行うことができ、適切に活用できる。 自分や社会の未来創造のために、方向性を見だし、計画できる。 より広く深く学ぶことを通して自らの成長に繋げることができる。

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
共通・コア科目		学位プログラム概論	1・2	1						○
		リーダーシップとSDGs	1・2	2		○		○		◎
		ヘルスプロモーション科学	1・2	(1)						○
		医療倫理学	1・2	(2)						○
		危機管理学	1・2	(2)						○
		研究方法論	1・2	(2)						○
検査技術科学専門科目	検査技術科目科学共通	グローバル・プレゼンテーション1	1・2		1			○		
		グローバル・プレゼンテーション2	1・2		1			○		
		国際研究インターンシップ（前期）	1・2		1			○		
		インターンシップ実践（前期）	1・2		1			○		
	病態情報科学	高次機能解析学特論	1		2				◎	
		高次機能解析学演習※	1		2	◎				
		ゲノム病理学特論	1		2				◎	
		ゲノム病理学演習※	1		2	◎				
		病原因子解析学特論	1		2				◎	
		病原因子解析学演習※	1		2	◎				
		感染制御学特論	1		2				◎	
		感染制御学演習※	1		2	◎				
		病態情報解析科学特別研究	2	(10)			◎			
	生体情報科学	機能情報解析学特論	1		2				◎	
		機能情報解析学演習※	1		2	◎				
		生体情報解析学特論	1		2				◎	
		生体情報解析学演習※	1		2	◎				
		細胞・免疫科学特論	1		2				◎	

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	情報科学	細胞・免疫科学演習※	1		2	◎				
		生体機能解析学特論	1		2				◎	
		生体機能解析学演習※	1		2	◎				
		超音波画像計測学特論	1		2				◎	
		超音波画像計測学演習	1		2	◎				
		生体情報機能科学特別研究	2	(10)			◎			

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する
 共通・コア科目及び専門教育科目に係る単位の()書きは選択必修科目とする。

保健学研究科 博士前期課程 検査技術科学分野
超音波検査士育成コース（博士前・後期一貫コース） カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
保健学研究科博士前期課程 超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース)	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	全人的かつ先進的な保健・医療のために、世界と繋がり、異なる価値を認め、医用超音波診断の課題解決に導く実践力	研究の基礎能力を持ち、論理的・複眼的に医用超音波診断の課題に迫る探究力	保健・医療チームの中核として広く協働できるコミュニケーション力	医用超音波診断の高度な知識と技術を統合し、保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門力	幅広い学びから自らの知を深め、社会・環境の変化に柔軟に対応できる教養力
	臨床における医用超音波診断の課題と向き合う中で、それぞれの差異を理解し、解決のために先駆けて行動できる。 地域社会や国際社会におけるヘルスプロモーションに貢献できる。 全人的かつ先進的な保健・医療を実践できる。	医用超音波診断の専門的学識を用いて、多面的な検討により課題を発見し、自ら解決方法を見いだせる。 課題の本質を、他の専門領域の人が理解できるように説明することができる。	医用超音波診断の専門職として、チーム医療における役割を理解できる。 円滑なコミュニケーションにより、専門領域を超えて相互に高め合うことができる。	医用超音波診断技術を用いた臨床・基礎的研究方法についての知識と技術を習得している。 知識、技能を深く統合することができる。	情報の収集・分析などを行うことができ、適切に活用できる。 自分や社会の未来創造のために、方向性を見だし、計画できる。 より広く深く学ぶことを通して自らの成長に繋げることができる。

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
共通・コア科目		学位プログラム概論	1・2	1		○	○			◎
		リーダーシップとSDGs	1・2	2		○		○		◎
		ヘルスプロモーション科学	1・2	(1)						◎
		医療倫理学	1・2	(2)						◎
		危機管理学	1・2	(2)						◎
		研究方法論	1・2	(2)			◎			
検査技術科学専門科目	学検査共通技術科目	グローバル・プレゼンテーション1	1・2		1	◎				
		グローバル・プレゼンテーション2	1・2		1	◎				
		国際研究インターンシップ（前期）	1・2		1			◎		
	病態情報科学	高次機能解析学特論	1		2				◎	
		高次機能解析学演習	1		2	○			◎	
		ゲノム病理学特論	1		2				◎	
		ゲノム病理学演習	1		2	○			◎	
		病原因子解析学特論	1		2				◎	
		病原因子解析学演習	1		2	○			◎	
		感染制御学特論	1		2				◎	
		感染制御学演習	1		2	○			◎	
		病態情報解析科学特別研究	2	(10)		○			◎	
	検査技術科学専門科目	機能情報解析学特論	1		2				◎	
		機能情報解析学演習	1		2	○			◎	
		生体情報解析学特論	1		2				◎	
		生体情報解析学演習	1		2	○			◎	
		細胞・免疫科学特論	1		2				◎	

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	生体情報科学	細胞・免疫科学演習	1		2	○			◎	
		生体機能解析学特論	1		2				◎	
		生体機能解析学演習	1		2	○			◎	
		超音波画像計測学特論	1	2					◎	
		超音波画像計測学演習	1	2		○			◎	
		超音波画像計測学実習Ⅰ	1		4	○			◎	
		超音波画像計測学実習Ⅱ	2		4	○			◎	
		生体情報科学特別研究	2	(10)		○			◎	

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する
 共通・コア科目及び専門教育科目に係る単位の()書きは選択必修科目とする。

保健学研究科 博士前期課程 検査技術科学分野
ゲノム医療サイエンティスト育成コース カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
保健学研究科博士前期課程 ゲノム医療サイエンティスト育成コース	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	全人的かつ先進的な保健・医療のために、世界と繋がり、異なる価値を認め、ゲノム医療の課題解決に導く実践力	研究の基礎能力を持ち、論理的・複眼的にゲノム医療の課題に迫る探究力	保健・医療チームの中核として広く協働できるコミュニケーション力	ゲノム医療の高度な知識と技術を統合し、保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門力	幅広い学びから自らの知を深め、社会・環境の変化に柔軟に対応できる教養力
	ゲノム医療の課題と向き合う中で、それぞれの差異を理解し、解決のために先駆けて行動できる。地域社会や国際社会におけるヘルスプロモーションに貢献できる。全人的かつ先進的な保健・医療を実践できる。	ゲノム医療の専門的学識を用いて、多面的な検討により課題を発見し、自ら解決方法を見いだせる。課題の本質を、他の専門領域の人が理解できるように説明することができる。	ゲノム医療の専門職として、チーム医療における役割を理解できる。円滑なコミュニケーションにより、専門領域を超えて相互に高め合うことができる。	形態病理学や分子病理学に関する研究方法についての知識と技術を習得している。知識、技能を深く統合することができる。	情報の収集・分析などを行うことができ、適切に活用できる。自分や社会の未来創造のために、方向性を見だし、計画できる。より広く深く学ぶことを通して自らの成長に繋げることができる。

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
共通・コア科目		学位プログラム概論	1・2	1		○	○			◎
		リーダーシップとSDGs	1・2	2		○		○		◎
		ヘルスプロモーション科学	1・2	(1)						◎
		医療倫理学	1・2	(2)						◎
		危機管理学	1・2	(2)						◎
		研究方法論	1・2	(2)			◎			
検査技術科学専門科目	学検 共査 通技 科術 目科	グローバル・プレゼンテーション1	1・2		1	◎				
		グローバル・プレゼンテーション2	1・2		1	◎				
		国際研究インターンシップ（前期）	1・2		1			◎		
	病態 情報 科学	高次機能解析学特論	1		2				◎	
		高次機能解析学演習	1		2	○			◎	
		ゲノム病理学特論	1		2				◎	
		ゲノム病理学演習	1	2		◎			◎	
		分子細胞病理学実習Ⅰ	1	3		◎			◎	
		分子細胞病理学実習Ⅱ	2	3		◎			◎	
		病原因子解析学特論	1		2				◎	
		病原因子解析学演習	1		2	○			◎	
		感染制御学特論	1		2				◎	
		感染制御学演習	1		2	○			◎	
		病態情報解析科学特別研究	2	(10)		◎			◎	
	生体	機能情報解析学特論	1		2				◎	
		機能情報解析学演習	1		2	○			◎	
		生体情報解析学特論	1		2				◎	
		生体情報解析学演習	1		2	○			◎	
		細胞・免疫科学特論	1		2				◎	

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	情報科学	細胞・免疫科学演習	1		2	○			◎	
		生体機能解析学特論	1		2				◎	
		生体機能解析学演習	1		2	○			◎	
		超音波画像計測学特論	1		2				◎	
		超音波画像計測学演習	1		2	○			◎	
		生体情報機能科学特別研究	2	(10)		○			◎	

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する
 共通・コア科目及び専門教育科目に係る単位の()書きは選択必修科目とする。